



< 運営推進会議における評価 >

【事業所概要】

法人名	株式会社 ウェルケア沖縄	事業所名	看護小規模多機能めぐみ小緑南
所在地	(〒901-0145) 沖縄県那覇市高良2丁目9番6号		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

職員一人ひとりが親切・丁寧・礼儀正しく利用者と接することができ、利用者と職員が大笑いして過ごせる環境をこころがけています。
「通い」「泊り」「訪問介護」「訪問看護」を提供し、利用者と御家族が心豊かに、最期まで在宅療養できるよう支援しております。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2023 年 12 月 15 日	従業者等自己評価 実施人数	(7) 人 ※管理者を含む
----------------	---------------------	------------------	-----------------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2024 年 1 月 24 日	出席人数 (合計)	(7) 人 ※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	☐ 自事業所職員 (2) 人 ☐ 市町村職員 (1) 人 ☐ 地域包括支援センター職員 (1) 人 ☐ 地域住民の代表者 (1) 人 ☐ 利用者 (1) 人 ☐ 利用者の家族 (1) 人 ☐ 知見を有する者 () 人 ☐ その他 () 人		

※ 当該様式は、「事業所自己評価」の結果を整理するとともに、その結果を運営推進会議へ報告するための様式として使用します。また、運営推進会議において得られた主なご意見等は、次ページ以降の「運営推進会議における意見等」の欄にメモします。

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
			自己評価	運営推進会議における意見等
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	② 人員不足 ③ 研修項目の設定 ⑥ 運営推進会議の反映方法 ⑦ 職員の就業環境の整備 ⑧ 利用者の情報共有方法 ⑨ 利用者、職員の安全管理 ⑩ 災害などの対応方法	② 法人全体で、求人を行い、人員不足解消に取り組んだ ③ 法人内で年間スケジュールを作成。 ⑥ Zoom を活用して運営推進会議を実施する ⑦ 定期的な面談。 ⑧ 定期的なミーティング開催 ⑨ 事故報告書をもとにカンファレンスを実施 ⑩ BCP 作成	② 法人内の異動や介護スタッフの入職。訪問看護の人員も満たされている。 ③ 毎月定期的に Zoom で経験年数に応じた研修を行っているが、事業所内の育成計画 (OJT など) がおろそかになっている。 ⑥ Zoom での開催はできずじまいだった。今後も課題継続 ⑦ 現在、残業や休日出勤もほばないので、このまま職員のライフワークバランスを継続していく ⑧ ミーティングの回数が適宜であり、定期的に最低でも週 1-2 回は実施したい ⑨ ・転倒予防や誤薬防止など危険予測と対応について、話し合いを行い急変時対応マニュアルを作成した。 ⑩ BCP 作成したが、職員関係機関への周知がまだ	④ 令和 6 年度は OJT に取り組む強化を行ってください ⑤ 運営推進会議の参加者は特定の職員ばかり出席させるのではなく、他職員も交代で出席させて、今後オブザーバー的な役割を作ってはどうか ⑦ ハラスメントマニュアルの作成と周知をお願いします。 ⑧ ミーティングの回数を月に 2 回から開始してはどうか ⑩ BCP は 3 月末までに職員研修周知を行い、関係機関に情報開示をしてください。

				係機関への周知がまだできていない。	
Ⅱ. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	⑮リスク管理を踏まえた計画 ⑰長期連泊者への改善 ⑳在宅療養生活の継続	⑮介護/看護職で担当制にして、ミーティングを開催 ⑰利用者/ご家族への説明 ㉑訪問時の指導/パンフレットを用いた説明	⑮看護視点からの病態アセスメントを行い、今後の予後予測を行っている ⑰長期連泊者に関して、現在解決し、利用者はバランスよくサービスを利用してもらっている。 ㉑必要な知識技術(例えば胃ろう注入や吸引など)をパンフレットを用いながらご家族に指導を行っている。	⑮ 事務作業の効率化を目指しながら、アセスメント後は計画書にも落とし込んでいきましょう。 職員の「なぜ」を大切に、医療的ケアの勉強会を実施してほしい。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	㉑関係機関への情報提供/提案	㉑Zoomを活用して運営推進会議を実施する	㉑Zoomを活用しての情報提供や提案などできなかった。 地域包括支援センターに困難ケースの相談をさせてもらっている。	㉑ 那覇市にも情報提供、連携、相談を行ってください。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	㉒運営推進会議の情報発信 ㉓地域への啓発活動 ㉔地域への訪問看護活動 ㉕地域包括ケアシステムの理解 ㉖地域関係者への課題提起や提案など	㉒職員への運営推進会議の周知 ㉓地域への啓発活動 ㉔地域へ積極的に訪問看護を実施する ㉕研修/勉強会を行う予定 ㉖地域関係者への課題提起	㉒議事録を玄関にて、誰にでも閲覧できるように設置し職員にアナウンスしているが、全員に周知できていない。 ㉓小禄地域の自治会議に参加してもらい広報や看多機の概要をおおまかに説明させてもらった ・当法人理事長の講演会を地域の公民館で行った。 ㉔現在、訪問リハビリも含め那覇地域に25件訪問看護実施中 ㉕研修/勉強会未実施	

				④地域包括ケアセンター高良に利用者の相談は行っているが、課題提起や提案は行えていない。	
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)					

※「進捗評価（運営推進会議における意見等）」には、運営推進会議の場で得られた主なご意見等をメモします。その他の欄は、事業所が記載します

■ 「今回の改善計画（案）」および「運営推進会議における評価」

項目		改善計画（案）	運営推進会議における意見等
Ⅰ. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		① 職員に対し、トイレやタブレットの壁紙。デスクに理念と行動指針を掲示。利用者家族には連絡ノートに貼付し、見える化に取り組む ② 事業所内の人材育成計画に基づき、勤務期間や経験年数を考慮して指導者相談できる人材を育成する。技術チェックシートの活用。 ③ 毎日 11 時から申し送り小ミーティングを開催。月 2 回（第 1 第 3 火曜日、各委員会からの報告、カンファレンスの実施 ④ 運営推進会議、輪番制の導入 ⑤ BCP を職員へ周知。災害避難訓練の実施。	① 理念は、職員の他にも利用者/利用者家族にも明確になるような工夫してほしい。 ② 令和 6 年度、OJT に取り組む強化を行ってください。 ③ 定期ミーティングを月 2 回からはじめてみてはどうか。 ④ 特定の職員だけでなく、輪番制にしてみてもどうか。 ⑤ BCP、3 月までに研修行って周知してください。家族、地域、自治会にも情報を開示してほしい。
Ⅱ. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	① 看護職の見解を取り入れたサービス計画を作成していく。利用者の状態変化時、随時計画書を作成する ② 利用者の状態変化を事業所内外を含む関係多職種と情報共有する ③ 職員一人ひとりがサービスの趣旨、及び特徴などについて分かりやすく説明することができる	① 事務作業の効率化を目指しましょう。 ② 情報共有 LINE 共有の他にも方法を考えてみてはどうか。 ③ 説明できる職員を増やしてはどうか。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	① 地域の医療機関と連携し、医療ニーズのあるご利用者様などについては多職種と連携し支援できるよう努めていく ② 利用者のために必要なサポートを地域自治会、地域包括支援センター、那覇市職員等に情報提供や提案を行う	① 訪問診療、訪問看護と一緒に在宅生活の継続をお願いします。 ② 地域行事等の情報を把握し、地域や那覇市とも情報提供、連携してください。
	3. 誰でも安心	① 地域行事への積極的参加	① 地域行事に積極的に参加してください。

	して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32~41)	② 法人職員にて地域住民へ講演会等を行い、医療、福祉の情報発信する	
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42~44)	看取り対する知識を学習し、職員によるスキル差を無くすことでご家族の安心感を得られるように改善する。 24時間オンコール対応していることで緊急時対応できることを周知していくことで在宅生活に不安をもたれないよう努めていく。		

※「改善計画(案)」には、事業所としての案を記載します。「運営推進会議における意見等」は、運営推進会議の場で得られた主なご意見等をメモします

■ 評価表 [事業所自己評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	当事業所より回答
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
Ⅰ 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「① 医療ニーズの高い利用者の 在宅生活の継続支援」、「② 在宅での看取りの支援」、 「③生活機能の維持回復」、 「④家族の負担軽減」、「⑤ 地域包括ケアへの貢献」を 含む、独自の理念等を掲げ ている	0	6	1	0	<ご家族Ⅰ様> 理念は利用者にも明確になる ような工夫がほしい。 連絡ノートのどこかに表示す るのはどうでしょうか。 <ご家族Ⅰ様> 議事録を周知するための工夫 をしてみてもどうでしょうか <ご家族Ⅰ様> 重要なところはマーキングし て全部に目を通さなくてもい いようにするなど工夫するこ とで関心が高くなるのではな	<ご家族Ⅰ様> ありがとうございます。早速、いた だいたアイデアで連絡ノートに貼 付させていただきました。 <ご家族Ⅰ様> 法人理念の大枠を抜粋して、職員が 普段から目にする場所。勤怠アプリ が入ったタブレット壁紙。職員用ト イレ。職員掲示板。申し送り帳に提 示して関心、意識づけをもってもら うようにしました。

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	当事業所より回答
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
						いでしょうか。 ＜地域包括、〇〇様＞ 新入職の方は何を理解してい いのかかわからないと思いま す。	＜地域包括、〇〇様＞ 新人オリエンテーション時に法人理 念、行動指針を説明していきます。
2	○ サービスの特徴および事業 所の理念等について、職員 がその内容を理解し、実践 している	0	6	1	0	＜ご家族 I 様＞ 利用者家族の相談に丁寧 に対応してくれるので、とても 助かっています。	＜ご家族 I 様＞ ありがとうございます。ご相談に 沿えないこともあると思いま すが、できるだけ利用者が平等にサ ービスを利用できるようにしてい きます。
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通 じて、各職員の中長期的な 育成計画などを作成してい る	1	4	2	0	＜那覇市 〇〇様＞ ZOOM での法人研修は続け つつ、令和 6 年度は OJT に 取り組む強化を行ってくだ さい。	＜那覇市 〇〇様＞ 勤務期間や経験年数を考慮して指導 者相談できる人材育成に取り組んで いきます。 実際、令和 6 年 1 月から別部署から異 動してきた職員に対して、在職者で技 術指導を行い、相談者を介護リーダー

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	当事業所より回答
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		が、事業所内での育成計画（OJT など） がおろそかになっている。					
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	1	4	1	0		に任せています。 令和6年3月11日からの入職者（介護未経験）には、技術チェックシートを作成しました。介護技術を指導。一人立ちで、チェックしていきます。指導担当者をおき、新入職員の相談助言を行っていきます。
		[具体的な状況・取組内容] ・内部・外部研修問わず、研修案内を職員に回覧し開示している。 ・広島での Zoom 研修をメインに研修参加している。 ・沖縄県が主催する介護支援専門員研修や、認知症ケア研修など専門技術が向上する研修は積極的に参加している					
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	1	6	0	0	<那覇市 様> 定期ミーティングを月2回から初めてみてはどうでしょうか。○曜日や日時を決めて、まずは出勤している職員だけで行なうことで、浸透していくと思います。	<那覇市 様> 毎日のミーティング（日々の申し送り等）夜勤者から日勤看護師へ申し送り。11時に日勤看護師から日勤者全員へ申し送りを行っています。 毎月のミーティング（ケアマネ、委員会からの連絡、運営推進会議、報告書の報告等）を第1/第3火曜日11時から行います。
		[具体的な状況・取組内容] ・医療ニーズが高い利用者の病態生理やケア方法、注意点などは看護師。生活に関わる（食事/排泄/入浴など）気づいた点などは介護士。新しく利用される方の情報や、制度などは介護支援専門員と分けてミーティングする機会をもつようにしている。しかし、業務上、時間が不規則であり、今後は定期的なミーティング時間の確保が課題である。 ・参加できなかった職員に対しては個人情報					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	当事業所より回答
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		に配慮しつつ、グループ line など内容情報を共有している。					
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	0	3	3	1	<那覇市 様> 管理者/看護師/ケアマネだけでなく、職員を輪番制にして参加してもらうのはどうでしょうか。 <地域包括、 様> オブザーバー的な職員も必要だと思います。	<那覇市 様> 早速、令和6年3月の運営推進会議から輪番制を取り入れていきます。輪番制を取り入れることで、公平性が保たれ地域貢献にも目を向けていきます。 <地域包括、 様> 一通り全員が役割を担当することで、将来は誰でも会議に出席できるようにしていきたい。オブザーバー的な職員は管理者、介護支援専門員が担って行きたいと考えています。
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	0	6	1	0	<那覇市 様> セクハラ、パワハラ、カスハラについて、マニュアルの作成できていますか。周知はできていますか。	<那覇市 様> ・ハラスメント防止対策に関する基本方針。ハラスメント対応マニュアルがあります。 ・年に一度(4月)ハラスメント防止研修を法人内で実施しております。 ・職員トイレにハラスメント解説

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	当事業所より回答
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		員同士で解決に取り組んでいる（勤務調整など） ・残業や休日出勤など行わず。休み希望など職員のワークライフバランスを大切にしている。 ・利用者をお看取りされた後、3 日以内に、職員のグリーフケアを目的にデスカンファレンスを行っている。					
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	2	5	0	0		
		[具体的な状況・取組内容] ・利用者の情報について、介護支援専門員を中心に適宜ミーティングを行っている。ミーティングに参加できなかった職員には個人情報配慮して書面での回覧や、グループ LINE にて情報を共有している。 ・ミーティングの回数が適宜であり、定期的に最低でも週 1-2 回は実施したい					
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられて	0	5	2	0		
		[具体的な状況・取組内容] ・送迎時、近隣住民から車の速度が速いと注意があった。職員に周知し、利用者/職員/住民の安全確保に努める。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	当事業所より回答
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		・転倒予防や誤薬防止など危険予測と対応について、話し合いを行い急変時対応マニュアルを作成した。 ・全職員就業前後のアルコールチェック					
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	1	6	0	0	<那覇市 様> BCP→3 月末までに研修行って周知をお願いします。 <ご家族Ⅰ様> 家族、地域、自治会へも情報開示をしてほしい	<那覇市 様> 令和6年2月6日に法人研修「業務継続計画（BCP）」の研修を行いました。参加できなかった職員には研修報告書とレジュメで周知しました。看多機めぐみ小禄南独自のBCPを職員に3/4～説明周知いたしました。 <ご家族Ⅰ様> 職員、ご利用者のプライバシーに配慮して、ご家族、自治会に情報共有致します。
Ⅱ サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	1	5	1	0		
		[具体的な状況・取組内容] ・介護支援専門員のモニタリングや看護師の定期訪問で生活状況や家族の状況を聞き取り把握しアセスメントを行っている ・訪問介護/看護、送迎時、ご家族が漏らす介護疲労を察し、介護支援専門員/看護師に伝え					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	当事業所より回答
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		ている。 ・「通い」や「泊り」を利用する際、ケア（内服時間や処置など）は、利用者の負担や環境変化をできるだけ起こさないために、自宅の時間に合わせて行っている。					
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	0	6	1	0	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・アセスメントの結果まではいかないが、ミーティングを多くもつことで、互いの視点を話せる環境にある。 ・3か月に1度、介護/看護共同で担当利用者の計画書見直しを行っている。	
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	0	7	0	0	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ご利用者様やご家族の意向を確認しながら計画を作成している。	
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成され	0	7	0	0	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・利用者全員ではないが、同グループのリハビリ職からのアドバイスや生活リハビリ方法を教わりながらリハビリ計画を行っている。 ・強くリハビリを希望される方は、医療保険や自費で訪問リハビリや訪問マッサージ	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	当事業所より回答
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		を実施している。					
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	0	6	1	0		
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・看護職を中心に病態の進行予測を行っている。看護計画書には「～のおそれがある」などを記載してもらっている。 ・利用者が悪化するであろう予測はたてるが、良くなる事、例えば「リハビリを行い身体機能が向上し、転倒のリスクが増える」などのアセスメント力が弱い					
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	0	6	1	0	<那覇市 様> 計画書変更にかかる理由はどうしてでしょうか。 <地域包括、 様> 事務作業の効率化を目指してはどうでしょうか。	<那覇市 様> 現場優先になってしまい、計画書等優先順位が後回しになったり、お試して1週間ケアを変更してみたりと、責任の所在が曖昧になっていました。今後は計画を作成する管理者、介護支援専門員がその都度計画を変更していきます。 <地域包括、 様> ・ケア業務班と事務作業班に分けて、効率化を図っていきます。

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	当事業所より回答 ・担当者へ、計画書の作成期限を設けます。
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	1	6	0	0		
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・現在、各サービス過多になっている利用者はいない。「通い」「泊り」バランスよく利用してもらっている。 ・御家族からの要望は「泊り」が多い。 介護支援専門員を中心に、スタッフもご家族が要望される際は、バランスよく利用してほしい旨を都度説明している。					
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	0	6	1	0	<那覇市 様> 新規利用者の情報共有はLINE 共有の他にも情報共有方法を考えてはどうでしょうか。	<那覇市 様> ・新規利用者に関しては利用前から介護支援専門員を中心に対面での情報共有を行っています。 ・情報があやふやにならないように、ホワイトボードに基本的なサービス/提供時間/回数/入浴日などの利用状況を記載し、視える化を実施しました。

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	当事業所より回答
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	2	5	0	0		
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・薬の変更や新しい薬が処方された場合、看護職から介護職へ、薬や処置の仕方を説明している。 重要なことは、グループ LINE にて共有している。 ・看護師、介護士の申し送りをおこたると、役割分担がうまくいかず、利用者に迷惑を与えてしまうことがある。					
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	0	6	0	0		
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ご利用者様の状態に変化がみられた場合、介護と看護が連携し情報共有を行っている。 特に医療ニーズが高い利用者に対しては看護ができるケア、介護ができるケアを明確にし、できるだけ看護/介護両方でケアに入るようにしている。 対応策については、その都度検討を行っている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	当事業所より回答
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	0	6	1	0	<地域包括、〇〇様> 看護師から医療的なケアの勉強会を実施してほしい。 <ご家族I様> 介護スタッフの「なぜ」を受け止めて欲しいです。	職員の「なぜ？」を大切にし、看護師がもつ知識、技術をインプット/アウトプットしていきます。 看護師小勉強会を継続しつつ、今後は介護スタッフ主催の小勉強会も行っていきます。
④利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	0	7	0	0	<那覇市〇〇様> OJTで同席させるなどし、説明できるスタッフを増やしてはどうでしょうか。 OJTにもなるし、負担も減らせると思います。	<那覇市〇〇様> 施設見学や、重要事項説明、料金説明、サービス頻度など介護支援専門員が説明する時に同席させ、説明できる職員を増やします。

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	当事業所より回答
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	0	7	0	0		
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・3 か月毎の計画見直し後、ケアマネや看護師がにて本人、ご家族に説明している。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	0	7	0	0		
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 退院後、初めての在宅生活に必要な知識技術（例えば胃ろう注入や吸引など）をパンフレットを用いながらご家族に指導行っている。 習得途中のご家族に対しては、現在のケア方法尊重しながら、あせらず、ゆっくり指導をすすめている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	当事業所より回答
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	0	7	0	0	<地域包括、〇〇様> 気持ちの変化を「いつでもいい」と曖昧な返答にすると、相手は言い出しにくいのではないのでしょうか？ 年に一度など、変更頻度を決めるといいかもしれないですよ。	<地域包括、〇〇様> 実調、契約時、初回介入時、病状変化時、新しい治療開始時、状態変化がみられた時に、ご家族の現在の気持ちをご確認していきます。 御家族が自発的に発した気持ちを汲み取り、思いや疑問に対応していきます。気持ちを確認したら職員間でも共有し、統一したケアを実践していきます。
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	[具体的な状況・取組内容] ・利用者本人、ご家族に対して終末期をどのようにお考えか、タイミングをみて確認している。 ・一度決定したからと言っても、気持ちが変われば変更していい旨を説明している。 ・利用者本人が意思の決定ができない場合は、家族の気持ちを尊重しているが、利用者本人が辛く苦しいかも、とアセスメントした場合（点滴吃水や長時間頻回の吸引など）はご家族へ説明し、再度関係機関でカンファレンスを行っている					
		[具体的な状況・取組内容] ・退院後、在宅生活を継続できるように、サービスの再調整を行っている。 ・引きこもりや、なかなかサービスを利用してくれない利用者に、サービスの必要性を都度説明しながら、今後の方向性を確認している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	当事業所より回答
		よく でき てい る	おおそ できて い る	あまりで きてい ない	全く できてい ない		
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	1	5	1	0		
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 主治医と連携をとり、今後の意向を確認しながら説明を行っている。 御家族に対して、今後おこりうること、としてパンフレットをお渡ししている。 記録はその都度残している。					
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	1	5	1	0		
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 近隣病院と連携し、退院後の円滑な在宅生活、サービス利用を支援している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	当事業所より回答
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、 緊急時の対応方針等を、主 治医等と相談・共有するこ とができている	1	6	0	0		
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・急変が予測できる場合、看護師が事前 に主治医と連携をとり対応している。 ・急変時の対応や望む治療が決まってい ない、利用者、ご家族に対しては、急変 時は救急搬送としている。					
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携 により、休日夜間等を含め て、すべての利用者につい て、急変時に即座に対応が 可能な体制が構築されてい る	1	6	0	0		
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 医療提携機関に、緊急時の受け入れ体制 を構築している。 訪問看護は24H オンコール対応してい る。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	当事業所より回答
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、 利用者のために必要と考え られる包括的なサポートに ついて、民生委員・地域包括 支援センター・市区町村職 員等への情報提供や提案が 行われている	2	5	0	0	<那覇市 様> 地域行事などの情報はどの ように得ていますか <那覇市 様> 地域包括の他にも那覇市や 自治会とも情報提供、連携、 相談など行ってください。	<那覇市 様> 那覇市のHPを確認。運営推進会議 で情報を収集していきます。 <那覇市 様> 利用者や近隣要支援者の相談、連 携、情報共有を行っていきます。
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録につい て、誰でも見ることができ るような方法での情報発信 が、迅速に行われている	1	5	0	0		
		[具体的な状況・取組内容] ・玄関先にて議事録を誰でも閲覧可能と なっている。 ・面会簿の近くに設置し閲覧できるよう にしている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	当事業所より回答
		よく でき ている	おおそ できて いる	あまりで きていな い	全く できていな い		
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	1	6	0	0	<■■■■■会長> 高良区の行事は、年2回の大掃除（お盆前/年末）2月にはカラオケ大会があります。一緒に参加お待ちしております。	<■■■■■会長> ありがとうございます。大掃除など地域作業に積極的に参加致します。カラオケ大会など利用者も一緒に楽しめることがあれば、一緒に参加させてください。
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	1	4	0	0		
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・看多機利用者以外を対象とした訪問看護は同グループのGH(小禄南/首里/牧港)の54名。他地域への訪問看護20名を行っている。今後も那覇市を中心に訪問看護を積極的に受け入れていく					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	当事業所より回答
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする 要介護者を受け入れること ができる体制が整ってお り、積極的に受け入れてい る	0	2	2	1		
【具体的な状況・取組内容】 ・夜勤は介護スタッフが担っているが、 喀痰吸引特定研修を修了した介護スタッ フは一人しかおらず、今後当法人（広島） が運営している医療的ケア講習校を分校 として開校する計画である。 ・現在の吸引体制に対しては朝出勤して きた看護師が吸引を行い、退勤前に吸引 を行っている。夜間痰がらみが多くみら れた場合は、オンコールで看護師に出動 してもらっている。							
36	○ 「人工呼吸器」を必要とす る要介護者を受け入れるこ とができる体制が整ってお り、積極的に受け入れてい る	0	0	2	3		
【具体的な状況・取組内容】 24 時間受け入れる体制が整っていない 為、受け入れている。							
37	○ 「看取り支援」を必要とす る要介護者を受け入れるこ とができる体制が整ってお り、積極的に受け入れてい る	1	6	0	0		
【具体的な状況・取組内容】 受け入れ体制は、整っており「看取り支 援」での受け入れ実績有り。							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	当事業所より回答
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	0	0	6	1	[具体的な状況・取組内容] 看護・看護ともに理解できていない職員がほとんど。 今後は介護支援専門員を中心に勉強会をすすめていく。	
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	0	6	1	0	[具体的な状況・取組内容] 訪問・送迎が可能な距離であれば、特定の場所・地域に関係なくサービスを提供している。	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	当事業所より回答
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	0	0	5	2	<那覇市 様> 運営推進会議で課題提起してみるなど、活用してみてもいいでしょうか。	<那覇市 様> 運営推進会議に看多機で足りない活動を報告します。 ・交流、レクリエーションボランティア ・傾聴ボランティア を活用していきたい。
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	0 5 2 0					
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・ご家族には、適宜介護/医療に関するアドバイスをおこなっている。 近隣住民に対して、当法人理事長より認知症予防と題して講演会を1回。当法人リハビリスタッフより認知症を予防しようと題して講演会を1回行った。 ・看護/介護スタッフから地域への発信や取組はなかった。					

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない [具体的な状況・取組内容] モニタリングを行い評価し、利用者、利用者家族、介護支援専門員、看護師、介護士にて計画目標を話あっている。		
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない [具体的な状況・取組内容] 四肢麻痺のご利用者様が夜間にコールがあっても24時間対応できている。モニタリングで評価している。		

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3に は満たない 5. 看取りの希望者はいない [具体的な状況・取組内容] 利用者と家族が望む、お看取りに近づけるよう努力している。訪問看護単体でのお看取りはあるが、看多機でのお看取り件数は少ないのが現状。		

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等 (チャージンじゅう課)	運営推進会議における意見等 (地域包括支援センター高良)	回答
		よくできて いる	おおよそで きている	あまりでき ていない	全くできて いない			
I 事業運営の評価								
(1) 理念等の明確化								
①看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践								
1	サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取り支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	0	6	1	0		・理念は利用者にも明確になるような工夫がほしい。	・連絡ノートに貼付させていただきました。
2	サービスの特徴及び事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	0	6	1	0		・議事録を周知するための工夫をしてみようか。 ・新入職の方は何を理解していいのかわからないと思います。	・法人理念の大枠を抜粋して、職員が普段から目にする場所。勤怠アプリが入ったタブレット壁紙。職員用トイレ。職員掲示板。申し送り帳に提示して関心、意識づけを行いました。 ・新人オリエンテーション時に法人理念、行動指針を説明していきます。
(2) 人材の育成								
①専門技術向上のための取組								
3	職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	1	4	2	0		ZOOMでの法人研修は続けつつ、令和6年度はOJTに取り組む強化を行ってください。	勤務期間や経験年数を考慮して指導者相談できる人材育成に取り組んでいます。 新入職者に技術チェックシートを作成しました。介護技術を指導。一人立ちで、チェックしていきます。指導担当者をおき、新入職員の相談助言を行っています。

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等 (チャージんじゅう課)	運営推進会議における意見等 (地域包括支援センター高良)	回答
		よくできている	おおよそで きている	あまりできていない	全くできていない			
4	法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している。	1	4	1	0			
<u>「具体的な状況・取組内容」</u> ・内部・外部研修問わず、研修案内を職員に回覧し開示している。 ・広島でのZoom研修をメインに研修参加している。 ・沖縄県が主催する介護支援専門員研修や、認知症ケア研修など専門技術が向上する研修は積極的に参加している								
②介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保								
5	介護職・看護職・介護支援専門員の間で職員が相互に情報を共有する機会が確保されている。	1	6	0	0	定期ミーティングを月2回から初めてみてはどうか。○曜日や日時を決めて、まずは出勤している職員だけで行なうことで、浸透していくと考える		毎日のミーティング（日々の申し送り等）夜勤者から日勤看護師へ申し送り。11時に日勤看護師から日勤者全員へ申し送りを行っています。 毎月のミーティング（ケアマネや委員会からの連絡、運営推進会議、報告書の報告等）を第1/第3火曜日11時から行います
<u>「具体的な状況・取組内容」</u> ・医療ニーズが高い利用者の病態生理やケア方法、注意点などは看護師。生活に関わる（食事/排泄/入浴など）気づいた点などは介護士。新しく利用される方の情報や、制度などは介護支援専門員と分けてミーティングする機会をもつようにしている。しかし、業務上、時間が不定期であり、今後は定期的なミーティング時間の確保が課題である。 ・参加できなかった職員に対しては個人情報に配慮しつつ、グループlineなどで内容を情報共有している。								

番 号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等 (チャーム・イン・ミー)	運営推進会議における意見等 (地域包括支援センター・高良)	回答
		よくできて いる	おおよそで きている	あまりでき ていない	全くでき ていない			
(3) 組織体制の構築								
① 運営推進会議で得られた意見等の反映								
6	運営推進会議で得られた要望、助言等をサービスの提供等に反映させている	0	3	3	1	管理者/看護師/ケアマネだけでなく、職員を輪番制にして参加してもらうのはどうか。	オブザーバー的な職員も必要だと考えるうか。	・ 輪番制を取り入れていきます。輪番制を取り入れることで、公平性が保たれ地域貢献にも目を向けていきます。 ・ オブザーバー的な職員は管理者、介護支援専門員が担って行きます。
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備								
7	職員が安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	0	6	1	0	セクハラ、パワハラ、カスハラについて、マニュアルの作成できているか。周知はできているか。		・ ハラスメント防止対策に関する基本方針。ハラスメント対応マニュアルがあります。 ・ 年に一度(4月)ハラスメント防止研修を法人内で実施しております。 ・ 職員トイレにハラスメント解説用紙を掲示しました。

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等 (チャージんじゅう課)	運営推進会議における意見等 (地域包括支援センター高良)	回答
		よくできている	おおよそで きている	あまりできていない	全くできていない			
(4) 情報提供・共有のための基盤整備								
①利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備								
8	利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	2	5	0	0			
		[具体的な状況・取組内容] ・利用者の情報について、介護支援専門員を中心に適宜ミーティングを行っている。ミーティングに参加できなかった職員には個人情報配慮して書面での回覧や、グループLINEにて情報を共有している。 ・ミーティングの回数が適宜であり、定期的に最低でも週1-2回は実施したい						
(5) 安全管理の徹底								
①各種の事故に対する安全管理								
9	サービス提供に係る利用者等及び職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	0	5	2	0			
		[具体的な状況・取組内容] ・送迎時、近隣住民から車の速度が速いと注意があった。職員に周知し、利用者/職員/住民の安全確保に努める。 ・転倒予防や誤薬防止など危険予測と対応について、話し合いを行い急変時対応マニュアルを作成した。 ・全職員就業前後のアルコールチェック						
②災害等の緊急時の体制の構築								
10	災害な般緊急時の置いてもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている。	1	6	0	0			
		[具体的な状況・取組内容] ・連絡網の活用 ・医療材料、備蓄食料等常備している。 台風が接近しているときは、サービスを調整して対応している。 ・緊急時にはBCPに沿って対応していくが、職員、利用者、関係機関への共有がまだされていない。				BCP→3月末までに研修行って周知をお願いします。		
							令和6年2月6日に法人研修「業務継続計画（BCP）」の研修を行いました。参加できなかった職員には研修報告書とレジュメで周知しました。看多機めぐみ小祿南独自のBCPを職員に3/4～説明周知いたしました。	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等 (チャーがんじゅう課)	運営推進会議における意見等 (地域包括支援センター高良)	回答
		よくできて いる	おおよそで きている	あまりでき ていない	全くでき ていない			
II サービス提供等の評価								
1.利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供								
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成								
①利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施								
11	在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	1	5	1	0			
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・介護支援専門員のモニタリングや看護師の定期訪問で生活状況や家族の状況を聞き取り把握しアセスメントを行っている ・訪問介護/看護、送迎時。ご家族が漏らす介護疲労を察し、介護支援専門員/看護師に伝えている。 ・「通い」や「泊り」を利用する際、ケア（内服時間や処置など）は、利用者の負担や環境変化をできるだけ起こさないために、自宅の時間に合わせて行っている。						
12	介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が両職種の間で共有されている	0	6	1	0			
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・アセスメントの結果まではいかないが、ミーティングを多くもつことで、互いの視点を話せる環境にある。 ・3か月に1度、介護/看護共同で担当利用者の計画書見直しを行っている。						

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等 (ちゃーがんじゅう課)	運営推進会議における意見等 (地域包括支援センター高良)	回答
		よくできて いる	おおよそで きている	あまりでき ていない	全くできて いない			
②利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成								
13	家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	0	7	0	0			
		[具体的な状況・取組内容] ご利用者様やご家族の意向を確認しながら計画を作成している。						
14	利用者の有する能力を最大限に活かした「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持または向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	0	7	0	0			
		[具体的な状況・取組内容] ・利用者全員ではないが、同グループのリハビリ職からのアドバイスや生活リハビリ方法を教わりながらリハビリ計画を行っている。 ・強くリハビリを希望される方は、医療保険や自費で訪問リハビリや訪問マッサージを実施している。						
③利用者のお今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成								
15	利用者の今後の状況変化の予測とリスク管理を踏まえた計画が作成されている	0	6	1	0			
		[具体的な状況・取組内容] ・看護職を中心に病態の進行予測を行っている。 看護計画書には「～のおそれがある」などを記載してもらっている。 ・利用者が悪化するであろう予測はたてるが、良くなる事、例えば「リハビリを行い身体機能が向上し、転倒のリスクが増える」などのアセスメント力が弱い						
16	サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている。	0	6	1	0	計画書変更にかかる理由はどうですか。	事務作業の効率化を目指してはどうだろうか。	・現場優先になってしまい、計画書等優先順位が後回しになったり、お試して1週間ケアを変更してみたりと、責任の所在が曖昧になっていました。今後は計画を作成する管理者、介護支援専門員がその都度計画を変更していきます。
		[具体的な状況・取組内容] ・状況変化があった場合、ミーティングや申し送り、ケア方法や介入方法の変更は速やかに行うことができる。 しかし、計画書への適宜変更にかかる。						

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等 (チャージんじゅう課)	運営推進会議における意見等 (地域包括支援センター高良)	回答
		よくでき ている	おおよそで きている	あまりでき ていない	全くでき ていない			
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映								
17	通い・泊りの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している。	1	6	0	0			
	【具体的な状況・取組内容】 ・現在、各サービス過多になっている利用者はいない。「通い」「泊り」バランスよく利用してもらっている。 ・御家族からの要望は「泊り」が多い。 ・介護支援専門員を中心に、スタッフもご家族が要望される際は、バランスよく利用してほしい旨を都度説明している。							
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有								
18	利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	0	6	1	0			
	【具体的な状況・取組内容】 ・介護支援専門員を中心に福祉用具事業所、病院連携室と情報共有を行っている。 ・医療ニーズが高い利用者に関しては看護師を中心に訪問診療医師や病院連携室、関係機関と適宜、情報共有を行っている。 ・事業所内、シフト勤務のため、申し送りがうまくいかないと、情報共有がややふやになってしまう。	新規利用者の情報共有はLINE共有の他にも情報共有方法を考えてはどうか。				・新規利用者に関しては利用前から介護支援専門員を中心に対面での情報共有を行っています。 ・情報がややふやにならないように、ホワイトボードに基本的なサービス/提供時間/回数/入浴日などの利用状況を記載し、視える化を実施しました。		
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供								
① 介護職と看護職の相互の専門性を活かした柔軟なサービスの提供								
19	介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている。	2	5	0	0			
	【具体的な状況・取組内容】 ・薬の変更や新しい薬が処方された場合、看護職から介護職へ、薬や処置の仕方を説明している。重要なことは、グループLINEにて共有している。 ・看護師、介護士の申し送りをおこたると、役割分担がうまくいかず、利用者に迷惑を与えてしまうことがある。							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等 (チャージンじゅう課)	運営推進会議における意見等 (地域包括支援センター高良)	回答
		よくできている	おおよそで きている	あまりでき ていない	全くできて いない			
20	利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	0	6	0	0			
		<u>「具体的な状況・取組内容」</u> ご利用者様の状態に変化がみられた場合、介護と看護が連携し情報共有を行っている。 特に医療ニーズが高い利用者に対しては看護ができるケア、介護ができるケアを明確にし、できるだけ看護/介護両方でケアに入っている。 対応策については、その都度検討を行っている。						
①介護職と看護職の相互の専門性を活かした柔軟なサービスの提供								
21	看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	0	6	1	0			
		<u>「具体的な状況・取組内容」</u> ・介護スタッフの「なぜ？」を大切にしている。 例えば「なぜ？酸素しているのか？点滴しているの？」などを利用者の疾患をもとに小勉強会を行っている。 ・看護スタッフだけで、完結してしまうことがある。					看護師から医療的なケアの勉強会を実施してほしい。 介護スタッフの「なぜ」を受け止めて欲しい。	職員の「なぜ？」を大切に、看護師がもつ知識、技術をインプット/アウトプットしていきます。 看護師小勉強会を継続しつつ、今後は介護スタッフ主催の小勉強会も行っていきます。
(4)利用者等との情報及び意識の共有								
①利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供								
22	サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	0	7	0	0			
		<u>「具体的な状況・取組内容」</u> 介護支援専門員を中心に料金体系や重説を説明している。 サービス内容は、理解しているスタッフが都度説明している。				OJTで同席させるなどし、説明できるスタッフを増やしてはどうか。 OJTにもなるし、負担も減らせると考える。		施設見学や、重要事項説明、料金説明、サービス頻度など介護支援専門員が説明する時に同席させ、説明できる職員を増やします。
②利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明								
23	作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	0	7	0	0			
		<u>「具体的な状況・取組内容」</u> ・3か月毎の計画見直し後、ケアマネや看護師にて本人、ご家族に説明している。						

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等 (チャーがんじゅう課)	運営推進会議における意見等 (地域包括支援センター高良)	回答
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない			
24	利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、わかりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	0	7	0	0			
		[具体的な状況・取組内容] 退院後、初めての在宅生活に必要な知識技術（例えば胃ろう注入や吸引など）をパンフレットを用いながらご家族に指導行っている。 習得途中のご家族に対しては、現在のケア方法尊重しながら、あせらず、ゆっくり指導をすすめている。						
③重度化した場合や終末期に置けつ対応方針の、利用者等との相談と共有								
25	利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	0	7	0	0			
		[具体的な状況・取組内容] ・利用者本人、ご家族に対して終末期をどのようにお考えか、タイミングをみて確認している。 ・一度決定したからと言っても、気持ちが変われば変更していい旨を説明している。 ・利用者本人が意思の決定ができない場合は、家族の気持ちを尊重しているが、利用者本人が辛いかもしれない場合、と7時間以上した場合（点滴吃水や長時間頻回の吸引など）はご家族へ説明し、再度関係機関でカンファレンスを行っている					気持ちの変化を「いつでもいい」と曖昧な返答にすると、相手は言い出しにくいのではないかと、年に一度など、変更頻度を決めるというのでは。	実綱、契約時、初回介入時、病状変化時、新しい治療開始時、状態変化がみられた時に、ご家族の現在の気持ちをご確認していきます。 御家族が自発的に発した気持ちを汲み取り、思いや疑問に対応していきます。気持ちを確認したら職員間でも共有し、統一したケアを実践していきます。
26	在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	1	6	0	0			
		[具体的な状況・取組内容] ・退院後、在宅生活を継続できるように、サービスの再調整を行っている。 ・引きこもりや、なかなかサービスを利用してくれない利用者、サービスの必要性を都度説明しながら、今後の方向性を確認している。						
27	終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	1	5	1	0			
		[具体的な状況・取組内容] 主治医と連携をとり、今後の意向を確認しながら説明を行っている。 御家族に対して、今後おこりうることを、としてパンフレットをお渡ししている。 記録はその都度残している。						

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等 (チャージンじゅう課)	運営推進会議における意見等 (地域包括支援センター高良)	回答
		よくできて いる	おおよそで きている	あまりでき ていない	全くできて いない			
2. 多機関・多職種との連携								
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供								
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行								
28	病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	1	5	1	0			
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 近隣病院と連携し、退院後の円滑な在宅生活、サービス利用を支援している。						
② 入院・入所の可能性のある利用者についての、主治医等との対応方針の共有								
29	すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	<u>1600</u> <u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・急変が予測できる場合、看護師が事前に主治医と連携をとり対応している。 ・急変時の対応や望む治療が決まっていない、利用者、ご家族に対しては、急変時は救急搬送としている。						
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築								
30	地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	1	6	0	0			
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 医療提携機関に、緊急時の受け入れ体制を構築している。 訪問看護は24時間コール対応している。						

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等 (チャージんじゅう課)	運営推進会議における意見等 (地域包括支援センター高良)	回答
		よくでき ている	おおそで きている	あまりでき ていない	全くでき ていない			
(2) 多職種との連携体制の構築								
①運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討								
31	運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター。市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	2	5	0	0	地域行事などの情報はどのように得ているか。 地域包括の他にも那覇市や自治会とも情報提供、連携、相談など行っている。		那覇市のHPを確認。運営推進会議で情報を収集していきます。 相談、連携、情報共有を行っていきます。
3.誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画								
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案								
①サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信								
32	運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が迅速に行われている	1	5	0	0			
33	サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	1	6	0	0			

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等 (チャージンじゅう課)	運営推進会議における意見等 (地域包括支援センター高良)	回答
		よくできて いる	おおよそで きている	あまりでき ていない	全くでき ていない			
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮								
①看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供								
34	看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的 に実施している	1	4	0	0			
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・看護小規模利用者以外を対象とした訪問看護は同グループのGH（小椋南/首里/牧港）の54名。他地域への訪問看護20名を行っている。今後も那覇市を中心に訪問看護を積極的に受け入れていく						
②医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ								
35	「たん吸引」を必要とする要介護者を 受け入れることができる体制が整って おり、積極的に受け入れている。	0	2	2	1			
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・夜勤は介護スタッフが担っているが、喀痰吸引特定研修を修了した介護スタッフは一人しかおらず、今後当法人（広島）が運営している医療的ケア講習校を分校として開校する計画である。 ・現在の吸引体制に対しては朝出勤してきた看護師が吸引を行い、退勤前に吸引を行っている。夜間疲がらみが多くみられた場合は、オンコールで看護師に出動してもらっている。						
36	「人工呼吸器」を必要とする要介護者を 受け入れることができる体制が整って おり、積極的に受け入れている	0	0	2	3			
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 24時間受け入れる体制が整っていない為、受け入 れていない。						
37	「看取り支援」を必要とする要介護者を 受け入れることができる体制が整って おり、積極的に受け入れている。	1	6	0	0			
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 受け入れ体制は、整っており「看取り支援」での 受け入れ実績有り。						
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画								
①行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解								
38		0	0	6	1			

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等 (チャージンじゅう課)	運営推進会議における意見等 (地域包括支援センター高良)	回答
		よくできている	おおよそで きている	あまりできていない	全くできていない			
	管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 看護・看護ともに理解できていない職員がほとんど。 今後は介護支援専門員を中心に勉強会をすすめていく。						
②サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開								
39	サービス提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	0	6	1	0			
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 訪問・送迎が可能な距離であれば、特定の場所・地域に関係なくサービスを提供している。						
③安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等								
40	介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	0	0	5	2			運営推進会議に看多機で足りない活動を報告します。 ・交流、レクリエーションボランティア ・傾聴ボランティア を活用していきたい。
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 介護・看護の観点からインフォーマルサービスでどのようなものがあるか把握できていない。				運営推進会議で課題提起してみるなど、活用してみてはどうか。		
41	家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取り組み等が行われている	0	5	2	0			
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・ご家族には、適宜介護/医療に関するアドバイスをおこなっている。 近隣住民に対して、当法人理事長より認知症予防と題して講演会を1回。当法人リハビリスタッフより認知症を予防しようと題して講演会を1回行った。 ・看護/介護スタッフから地域への発信や取組はなかった。						

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等 (チャージんじゅう課)	運営推進会議における意見等 (地域包括支援センター高良)	回答
		よくできて いる	おおよそで きている	あまりでき ていない	全くできて いない			
Ⅲ結果評価								
①計画目標の達成								
42	サービスの導入により、利用者及びその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	2.利用者の2/3くらいについて、達成されている 【具体的な状況・取組内容】 四肢麻痺のご利用者が夜間にコールがあっても24H対応できている。 モニタリングで評価している。						
②在宅での療養生活の継続に対する安心感								
43	サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	2.利用者の2/3くらいについて、達成されている 【具体的な状況・取組内容】 四肢麻痺のご利用者が夜間にコールがあっても24H対応できている。 モニタリングで評価している。						
44	サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	2.利用者の2/3くらいについて、達成されている 【具体的な状況・取組内容】 利用者と家族が望む、お看取りに近づけるよう努力している。訪問看護単体でのお看取りはあるが、看多機でのお看取り件数は少ないのが現状。						